

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表



法人名	社会福祉法人 まつみ福祉会	代表者	松岡 満照	法人・ 事業所 の特徴	他の小規模多機能型居宅介護支援事業所と違い、当事業所は「共に生きる町」の事業所 という事から、年齢層や障がいを越え、沢山のひととの出会い、繋がりが得られます。 そのことで、利用者一人一人が自分なりの役割を担う事ができます。ここは事業所と いうより、小さな社会、大きな家族です。皆、助け合い、支え合って生きています。
事業所名	花日和 2号館	管理者	玉城 剛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	0人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	自己評価進捗状況の確認を月1回の会 議時に確認し、1年間を通し評価に取 り組む。	事業計画に改善計画を組み込み対応、 評価をすることができた。	今回のように事業計画の中に、サービ ス評価の「改善計画」を組み込むことで 評価に取り組むことができた。	職員全員が改善計画に取り組みしっか り評価出来るよう行動する。
B. 事業所の しつらえ・環境	花日和の畑を有効活用し植え付け、成 長、収穫等を通して楽しみや喜びに繋 げる。	ゴーヤーや玉ねぎ、人参を植えて収穫 した。収穫した野菜は夕食に活用して 喜ばれることが出来た。	畑作業は同じ利用者が行っていた。違 う利用者が畑に出ても土を触ることが なかった。作業に興味がある方には土 にも触れていただきたい。	花を育てるのもチャレンジしていただ き事業所に育てた花を飾りたい。
C. 事業所と地域の かかわり	事業所利用者と地域サロンの方々との 合同食事会を実施する。	地域サロンがコロナ感染防止のため中 止となったため食事会、交流を行うこ とが出来なかった。	感染防止、緊急事態宣言発令で交流が 途絶えてしまった。今回は仕方ないこ とだが、交流の形を変えながら関わる ことも必要だったと思う。	地域行事に参加してことがない職員へ 行事内容や日程を伝え、参加出来る よう勤務調整を行い参加する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	利用者が住んでいる地域の行事に職員 と利用者、家族と一緒に参加し写真を 撮る。	参加予定だった行事が中止となり参加 することが出来なかった。	多くの地域で様々な行事が中止となっ てしまった。計画していた行事とは別 に参加できる行事の情報収集は行って 次年度に活用するべきであった。	職員と利用者が一緒になって少人数、 もしくは個別で地域行事に参加する。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議に出席したことがない職 員の参加。	運営推進会議（外部参加）は見送りとな ったが、運営推進会議の内容が知らな かった職員へどのような会議になって いるかを周知することができた。	職員以外の方が参加しての運営推進会 議はコロナ感染防止のため中止となっ た。外部の方からの意見を聞くなどは 出来なかったが、職員で運営推進会議 を行うなど良い機会となった。	運営推進会議内で地域の困りごと、や ってみたいこと等の情報を聞き、事業 所で協力出来るように上手く運営推進 会議を活用する。
F. 事業所の 防災・災害対策	保管場所の問題を解決し、非常食、飲料 水を備蓄する。	少量の備蓄は確保しているが、備蓄リ スト全ての購入には至っていない。ま た、保管場所についても問題解決に至 っていない。	災害はいつ起こるか分からないから備 蓄については急いで対応しても良いか と思う。	保管場所の問題を解決し、備蓄リスト を再確認、購入保管する。